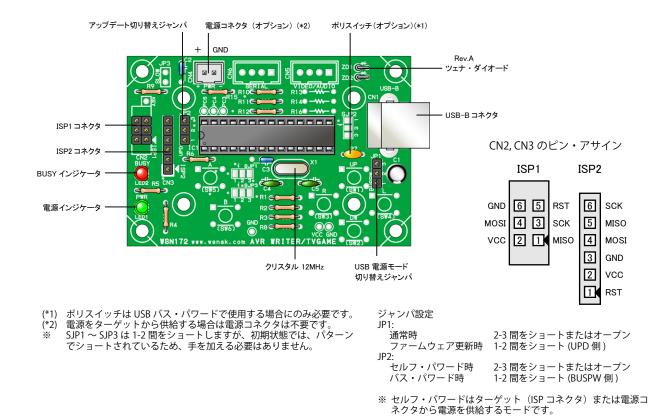
#172 ATmega48/88/168 学習ボード /AVR ライタ

## 1. AVR ライタ(USBasp 互換)

## 部品レイアウト図

基板の部品レイアウトとジャンパ設定の一覧を示します。



## 製作

AVRライタとして作る場合は、SJ1~SJ3は何もする必要はありません(それぞれ1-2間がつながった状態のまま)。

抵抗器、IC ソケット、クリスタル、セラミック・コンデンサとというように、背の低い部品から取り付けて行きます。 それぞれの回路図、レイアウト図、シルク印刷図を参考にしてください。

電解コンデンサや USB コネクタ、ピン・ヘッダ、ナイロン・コネクタなど高めの部品は後のほうで取り付けたほうがよいでしょう。ISP コネクタ用のピンヘッダやナイロン・コネクタは必要に応じたものを取り付けてください。

- ※ ターゲット側の ISP コネクタには #171B AVR ISP コネクタ 変換アダプタが使用できます。
- ※ タッパなどの容器に組み込む場合、基板四隅の斜線部分を切断して角を取り除くことができます。この部分を切断すると、四隅が丸い容器に組み込みやすくなります。

#### 免責

当製品は、設計上、製造上などの問題如何にかかわらず発生した不具合に対して、いかなる損害賠償、補償も負うことはできません。

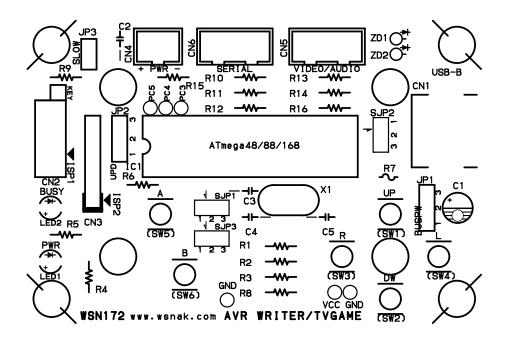
誤作動すると危険なものへは使用しないでください。

# AVR ライタ部品リスト

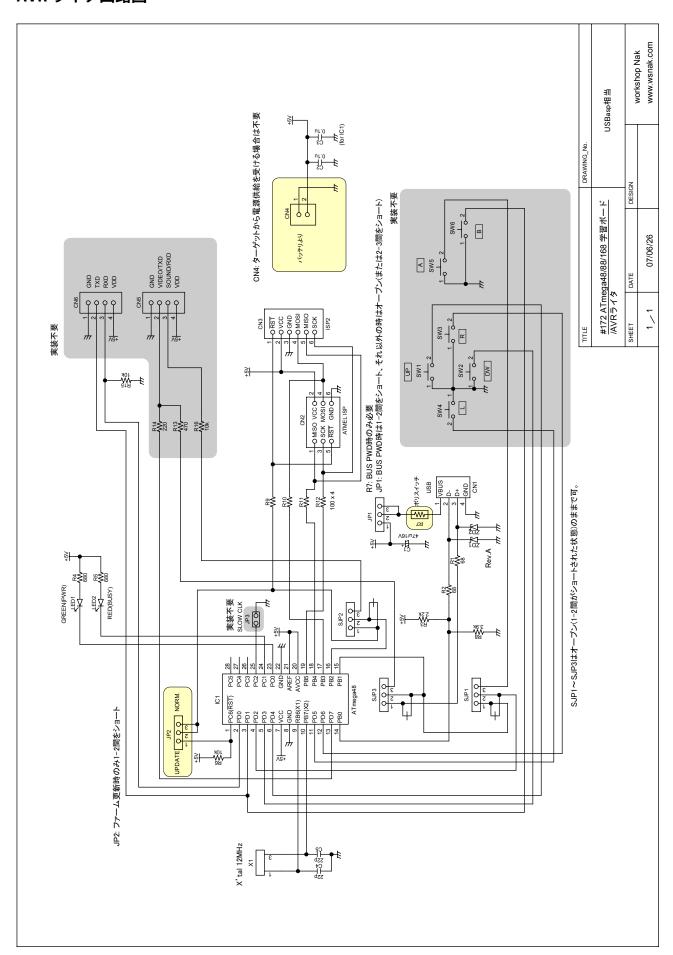
AVR ライタの製作に必要な部品リストを次に示します。グレーの欄は AVR ライタでは使用しない部品です。

#172 AVR Writer  部品名  型番、値 数量 回路記号											
部品名	型番、値	数量		備考							
AVR	ATmega48	1	IC1								
LED		1	LED1								
LED		1	LED2								
ポリスイッチ	100mA	(1)	R7				オプション				
抵抗器	100	4	R9	R10	R11	R12					
抵抗器 抵抗器 抵抗器 抵抗器 抵抗器 抵抗器 抵抗器	10k	2	R6	R15	R16						
抵抗器	2.2k	1	R3								
抵抗器	220	0	R14								
抵抗器	3.9k	1	R8								
抵抗器	470	0	R13								
抵抗器	68	2	R1	R2							
抵抗器	680	2	R4	R5							
電解コンテンサ	47u/16V	1	C1								
積層セラミック・コンデンサ	0.1u	2	C2	C3							
セラミック・コンデンサ	22p	2	C4	C5							
ナイロン・コネクタ2P		(1)	CN4				オプション				
ナイロン・コネクタ4P		0	CN5								
ナイロン・コネクタ4P		0	CN6				使用しない				
ピン・ヘッダ	2列×3	1	CN2				ISPコネクタ				
ピン・ヘッダ	1列×6	1	CN3				ISPコネクタ				
ジャンパ (ピン・ヘッダ)	1列×3	2	JP1	JP2							
ジャンパ (ピン・ヘッダ)	1列×2	1	JP3								
ジャンパ・ピン		2									
タクト・スイッチ		0	SW1~SW6								
USB-Bコネクタ		1	CN1								
クリスタル	12MHz	1	X1								
ツェナー・ダイオード		2	ZD1	ZD2			Rev.A				
ICソケット	28P	1	_								

## シルク印刷



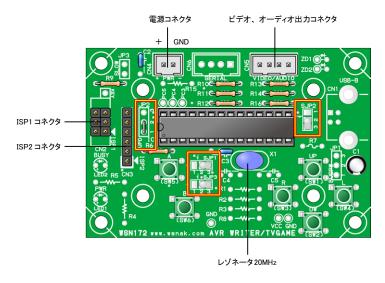
## AVR ライタ回路図



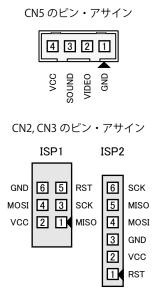
#### 2. TV ゲーム

#### 部品レイアウト図

基板の部品レイアウトとジャンパ設定の図を示します。



※ SJP1 ~ SJP3 は 1-2 間のパターンをカットしてから 2-3 間をショートします。



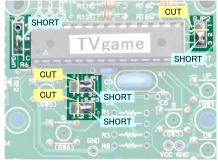
#### 製作

- 1. 最初に部品面にある SJP1  $\sim$  SJP3 のそれぞれの 1-2 間をパターン・カットします。次に同ジャンパの 2-3 間をはんだブリッジでショートします(右写真参照)。また JP2 は 1-2 間(UPD 側)をショートしておきます。
- 2. 背の低い部品から取り付けて行きます(タクト・スイッチはまだ付けない)。回路図、レイアウト図、シルク印刷図を参考にしてください。まず、抵抗器を取り付け、その後、IC ソケット、セラミック・コンデンサやレゾネータなど、同じぐらいの背の高さのものから取り付けます。
- 3. 電解コンデンサ、ピン・ヘッダ、ナイロン・コネクタを必要に応じて取り付けます。
- 4. 最後に、はんだ付け面にタクト・スイッチを取り付け、部品面からはんだ付けします(右写真参照)。はんだ付け面が表になります。
- ※ TV 画面が安定しない場合は、VIDEO 信号、GND 間に 75  $\Omega$ の抵抗器 を入れてください。CN5 の端子部分などにはんだ付けします。
- ※ ケース加工に便利なように、スイッチ取り付け位置の中央に  $\phi$  0.8 の 穴があけてあります。現物合わせでケースを加工する際に、基板に部 品を実装する前に穴あけ位置のガイドとして利用してください。タクト・スイッチの穴軽は  $\phi$  4.0  $\sim$  4.2 ぐ らいが適当です。
- ※ タッパなどの容器に組み込む場合、基板四隅の斜線部分を切断して角を取り除くことができます。この部分を切断すると、四隅が丸い容器に組み込みやすくなります。



当製品は、設計上、製造上などの問題如何にかかわらず発生した不具合に対して、いかなる損害賠償、補償も負うことはできません。

誤作動すると危険なものへは使用しないでください。



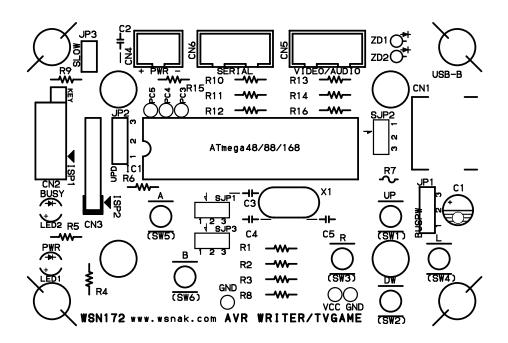


# TV ゲーム部品リスト

TV ゲームの製作に必要な部品リストを次に示します。グレーの欄は TV ゲームでは使用しない部品です。

#172 TVGame											
部品名	型番、値	数量	回路記号					備考			
AVR	ATmega48	1	IC1								
LED		0	LED1	LED2							
ポリスイッチ	100mA	0	R7								
抵抗哭	100	4	R9	R10	R11	R12					
抵抗器 抵抗器 抵抗器 抵抗器	10k	2	R6	R15	R16						
抵抗器	2.2k	0	R3								
抵抗器	220	1	R14								
抵抗器	3.9k	0	R8								
抵抗器 抵抗器	470	1	R13								
抵抗器	68	0	R1	R2							
抵抗器 抵抗器	680	0	R4	R5							
抵抗器	75	1						VIDEO終端R			
電解コンデンサ	47u/16V	1	C1								
積層セラミック・コンデンサ	0.1u	2	C2	C3							
セラミック・コンデンサ	22p	0	C4	C5							
ナイロン・コネクタ2P		1	CN4								
ナイロン・コネクタ4P		1	CN5								
ナイロン・コネクタ4P		0	CN6					使用しない			
ピン・ヘッダ	2列×3	1	CN2					ISPコネクタ			
ピン・ヘッダ	1列×6	1	CN3					ISPコネクタ			
ジャンパ (ピン・ヘッダ)	1列×3	2	JP1	JP2							
ジャンパ (ピン・ヘッダ)	1列×2	1	JP3								
ジャンパ・ピン		3									
タクト・スイッチ		6	SW1∼SW6								
USB-Bコネクタ		0	CN1								
レゾネータ	20MHz	1	X1								
ツェナー・ダイオード		0	ZD1	ZD2							
ICソケット	28P	1	_								

## シルク印刷



# TV ゲーム回路図

